

(本書は、こども計画を策定するために実施したヒアリング調査結果です。)

掲載ウェブページ: <https://www.city.hasuda.saitama.jp/kodomo/kosodate/shien/needscyosa.html>

## 関係団体ヒアリングシート

日付	令和5年11月15日(水)	時間	10:30~11:20
場所	市役所 厚生室		
相手方	ゆずりっこ 石井様		
聴取者	子ども支援課 企画担当 水沼・有泉		
<b>■子どもの貧困に関する活動について</b>			
・年に複数のゆずりっこイベントで、おさがりをゆずる・もらう活動。 (17~18年活動している)			
<b>■保護者・子ども等に対して行っている支援について</b>			
・積極的に声掛けを行うようにしている。全員への声掛けを意識しているが、子どもの世話を優先していない保護者には特に声掛けを行っている。 (例)何人目のお子様ですか?ちゃんと眠れていますか?(寝不足が問題) ・交流の場作り。ゆずりっこイベントを開催することで、同世代の子育て世帯が集まり、周りも子育てが大変で「自分だけじゃないんだ」と感じられるように雰囲気作りを意識している。			
<b>■保護者が抱える課題について</b>			
・保育園に入園できない。→孤立化 ・仕事をしたい(専業主婦でいることがつらい)。 ○ゆずりっこに参加する保護者 ・楽しんでいる。 ・衣類が買えないわけではないが、もったいないからゆずりたいという気持ちがある。			
<b>■保護者の特徴について</b>			
・支援センターを通じてゆずりっこイベントを知り、0~1歳児の保護者の参加が多い。 ・コロナ禍の3年を挟み、リピーターよりも初めての方が多くなった。			
<b>■子ども等が抱える課題について</b>			
・アレルギーを持っていること。これに関連し、離乳食の問い合わせが多い。			

<b>■子どもの特徴について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかでおとなしい。命令口調なお母さんも見かけなくなり、丁寧である。</li> </ul>	
<b>■支援にあたっての課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で行っているので、後世への引継ぎが課題。</li> </ul>	
<b>■今後必要な支援、施策等について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットで相談できる場がほしい。</li> <li>・外国人が増えていると聞いたので、外国人にもゆずりっこイベントを周知したい。 （例）外国語で周知するなど</li> </ul>	
<b>■制度の課題について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコプラザに約2ケースのおさがりをもらっているが、イベント後の余った場合に返さないでほしいと言われている。保管する場所がなく、エコプラザに日曜日に行ってリサイクルに出している。</li> </ul> <p>→保管場所の確保が課題</p>	
<b>■蓮田市への要望・期待について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに特化した24時間匿名で相談できるSNSなど。</li> <li>・保管場所の確保。</li> </ul>	
<b>■その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てコンシェルジュと共催なので場所がとりやすい。</li> <li>・コロナ禍前の年4回開催に戻せたらよい。</li> <li>・平日だけでなく、様々な年代の方が来られるようになるため土日にも開催したい。</li> <li>・周知をLINE、Facebook、ホームページで行うと見る方が多い。</li> </ul>	